

(公財) 地震予知総合研究振興会
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第19回)

概要報告

1. 日時 平成31年3月13日(水) 14:00~16:30

2. 出席者

| | | | |
|-----|------------------|------|--------|
| 主査 | 東北大学 | 名誉教授 | 長谷川 昭 |
| 委員 | 東京大学地震研究所 | 教授 | 岩崎 貴哉 |
| | 長岡技術科学大学 | 教授 | 大塚 悟 |
| | 地震予知総合研究振興会 | 会長 | 金沢 敏彦 |
| | 名古屋大学 | 教授 | 鷺谷 威 |
| | 東京大学地震研究所 | 教授 | 佐藤 比呂志 |
| | 産業技術総合研究所 | | 丸山 正 |
| | 横浜市立大学 | 教授 | 吉本 和生 |
| 事務局 | (公財) 地震予知総合研究振興会 | | |

(敬称略)

3. 議第

- (1) 平成30年度の活動報告
- (2) 地殻内における定常的かつ局所的な非弾性変形と内陸地震
- (3) 多種物理探査データ統合解析による構造推定と岩相抽出

4. 委員会の状況

平成30年度の活動報告として①地震活動状況等について、②GNSS観測結果等について説明があったのち、観測データを用いた解析、物理探査の統合解析等の幅広い分野における最新の調査研究について話題提供があった。

(1) 平成30年度の活動報告

平成30年度の活動報告が行われた。

- ① 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、気象庁による一元化震源との比較、過去の活動傾向等について意見交換が行われた。
- ② GNSS観測結果等について、データ処理の状況、長岡平野周辺の応力場等について説明が行われ、委員会では、余効変動方向とその時間変化等について意見交換が行われた。

(2) 地殻内における定常的かつ局所的な非弾性変形と内陸地震

GNSS観測網から得られた東北地方太平洋沖地震前後のひずみ速度から、その変形のメカニズム等について検討した結果について紹介された。委員会では、定常的な変形と内陸地震の発生の関係等に関して意見交換が行われた。

(3) 多種物理探査データ統合解析による構造推定と岩相抽出

石油・天然ガス資源探鉱における各種物理探査の統合解析による構造推定・岩相抽出フローとその実例について紹介された。委員会では、統合解析における拘束条件等に関して意見交換が行われた。

以 上